



【壁画：平和の楽園(鏝嚙作)】

本校は、知的障害のある子ども達を対象とした県下で最初の特別支援学校です。本校の伝統と経験に根ざし、次のような教育を目指しています。

目指す子どもの姿

- 健康で明るい子
- 生活に必要な生きる力を保つ子
- 自立を目指して頑張る子
- 友達や仲間と仲良くできる子

教育方針

- 12年(小学部・中学部・高等部)を一貫とし、経験を重視した教育活動の推進
- 一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動の推進
- 各関係機関との連携を密にし、地域への働きかけの推進

生活教育(生活の営みを教材として、生活していく力を高める教育)を重視し、「くらし」という活動形態の中で、「朝の会」や「個別の課題学習」「給食」「着替え」などを行っています。その他に、学部ごとに下記のような特徴的な活動時間を設定しています。

【小学部】



のびのびタイム (月～木：1時間程度)

遊ぶことを思いっきり楽しみながらコミュニケーションの力を身に付けさせたり、ルールを理解させたりしています。

【中学部】



ゆうゆうタイム (月・火・水：1時間30分程度)

自分たちの生活に必要な物を手作りしたり、グラウンドの芝刈りをはじめ身の回りの環境を整備したりする活動に取り組んでいます。

【高等部】



仕事 (月～木：2時間設定)

「紙と刷り」「焼き物」「畑・織り」に分かれて、作る楽しさや出来上がる喜びを味わいながら、虹の市(生徒作品販売)などを通して、人の手に渡って役に立つ喜びや対価を得る喜びも味わい、将来の生活につながるようにしています。

【縦割り班活動】



レインボータイム (金曜日)

全校児童生徒が、異学年から構成される10数名ずつのテーマ別グループに分かれて活動し、その中で自分の役割を見つけたり、ルールを知ったりしています。

これらの活動を通して、可能な限り自立と社会参加することを目指した総合的教育活動を推進しています。